科目名（Eng）	文学(Japanese　Literature)								
担当教員	高橋 宏宣								
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数				分野	形態	学修単位科目
	一般科目コミ	4	後期	選択	1	30	一般	A	

目標基準との対応	
	福島高専の教育目標との対応：(A-1)．(A-3)．
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：1)
	JABEE基準1(1)との対応：(a)

授業の概要と方針	太宰治の小説を読み、作品世界を解釈する。
到達目標	①作品に繰り返し現れるパターン、あるいは敢えて書かれていない空白部分といった、作品の内的構造を把握できるようにする。 ②①で把握した内容を、論理的に記述できるようにする。

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	事前学習
後期	16	太宰治概説（1）	人と作品	授業で扱う該当作品を事前に読み、その作品に対する自分なりの印象をノートに書き留めておくこと。
	17	太宰治概説（2）	太宰治の生涯	
	18	太宰治概説（3）	作家「太宰治」の誕生	
	19	「ダス・ゲマイネ」「満願」	中期への転換点	
	20	「富嶽百景」	否定される富士	
	21	「富嶽百景」	人格化される富士	
	22	「女生徒」	文体の特徴・愛読者の日記の存在	
	23	「女生徒」	甘えの構造と幸福の仮構	
	24	「駈込み訴え」	ユダと他の弟子たちとの違い	
	25	「駈込み訴え」	ユダはなぜ「あの人」を裏切ったのか	
	26	「走れメロス」	登場人物の形象化について	
	27	「走れメロス」	王のための物語として	
	28	「東京八景」	作り出される過去の問題	
	29	「帰去来」「故郷」	太宰治にとっての「故郷」	
	30	まとめ	太宰文芸の特質	

試験について	中間試験は共通科目試験日に50分の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。
評価方法	定期試験の成績100%で評価する。
教科書	太宰治『走れメロス』（新潮文庫）
参考書	『太宰治全集』（筑摩書房）
関連科目	日本語
履修上の注意	テキスト所収以外の作品も読んでみること。気に入った作品は繰り返し読むことが望ましい。